平成31年1月11日

都道府県医師会担当理事 殿

日本医師会常任理事 平 川 俊 夫

「医療機関における被虐待児童の実態に関する調査」に対する協力について

時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

今般、標記調査が実施されることとなり、厚生労働省より本会に対して周知協力方依頼がありました。

本調査は、厚生労働省「平成30年度子ども・子育て支援推進調査研究事業」の採択団体 (PwC コンサルティング合同会社) が実施するものであり、医療機関における被虐待児の診療体制や児童相談所との連携の実態を把握するものです。

調査対象は日本小児科学会の教育研修施設、五類型病院(臓器提供施設になりうる条件を満たす地域の中核病院)、各都道府県の保健医療計画で小児の救急輪番に参加している病院のいずれかに該当する医療機関(963施設)としております。

つきましては、貴会におかれましても本調査の趣旨をご理解いただき、貴会管下郡市 区医師会に対する周知方、また、調査対象となりました医療機関への協力方ご高配のほ どよろしくお願い申し上げます。 公益社団法人 日本医師会 御中

> 厚生労働省子ども家庭局 家庭福祉課虐待防止対策推進室

「医療機関における被虐待児童の実態に関する調査」へのご協力について(依頼)

時下、ますますご清祥のことお慶び申し上げます。平素は子ども家庭福祉行政の推進にご協力いただき、感謝申し上げます。

さて、平成30年度子ども・子育て支援推進調査研究事業における採択団体が、標記調査を実施することとなりました。本調査は、医療機関における被虐待児の診療体制や児童相談所との協力体制を整理し、連携の障壁となっている要因等を明らかにすることで、医療機関ならびに児童相談所の双方のより良い対応を目指すものです。貴会におかれましては、本調査の趣旨をご理解のうえご協力のほどよろしくお願い致します。

記

1. 事業概要

① 採択事業名 医療機関における被虐待児童の実態に関する調査

② 調査対象 日本小児科学会の教育研修施設、五類型病院(臓器提供施設になりうる 条件を満たす地域の中核病院)、各都道府県の保健医療計画で小児の救 急輪番に参加している病院のいずれかに該当する963施設

③ 調査受託機関 PwC コンサルティング合同会社 https://www.pwc.com/jp/ja.html〒100-6921 東京都千代田区丸の内 2-6-1 丸の内パークビルディング 21階

④ 事業に関する問合先 PwC コンサルティング合同会社 公共事業部

担当 東海林 崇、古屋 智子、大瀬 千紗

【照会先】

厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課虐待防止対策推進室 (柴田)

〒100-8916 東京都千代田区霞が関1-2-2

電 話 03-5253-1111 (内線4864)

直 通 03-3595-2166

FAX 03-3595-2663

各医療機関小児科部長 殿

「医療機関における被虐待児童の実態に関する調査」 調査へのご協力について (お願い)

時下、ますますご清祥のことお慶び申し上げます。平素は子ども家庭福祉行政の推進にご協力いただき、感謝申し上げます。

さて、平成30年度子ども・子育て支援推進調査研究事業における採択団体が、標記調査を実施することとなりました。本調査は、医療機関における被虐待児の診療体制や児童相談所との協力体制を整理し、連携の障壁となっている要因等を明らかにすることで、医療機関ならびに児童相談所の双方のより良い対応を目指すものです。業務ご多忙とは存じますが、ご協力のほどよろしくお願い致します。

厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課

児童福祉専門官 佐藤 剛 厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課虐待防止対策推進室 児童相談所指導係長 柴田 哲男

記

1. 事業概要

① 採択事業名 医療機関における被虐待児童の実態に関する調査

② 団体名

PwC コンサルティング合同会社 https://www.pwc.com/jp/ja.html

〒100-6921 東京都千代田区丸の内 2-6-1 丸の内パークビルディング 21 階

③ 事業に関する問合先 PwC コンサルティング合同会社 公共事業部

担当 東海林 崇、古屋 智子、大瀬 千紗

【照会先】

厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課虐待防止対策推進室 (柴田)

〒100-8916 東京都千代田区霞が関1-2-2

電 話 03-5253-1111 (内線4864)

直 通 03-3595-2166

FAX 03-3595-2663

「医療機関における被虐待児童の実態に関する調査」アンケート調査・ヒアリング調査へのご協力のお願い

事業検討委員会 座長 溝口史剛(前橋赤十字病院) 採択団体 PwC コンサルティング合同会社

新春の候、貴下ますますご清祥のことお慶び申し上げます。

さて、このたび PwC コンサルティングでは、厚生労働省「平成 30 年度子ども・子育て推進支援調査研究事業」に採択されました掲題の調査研究を実施することといたしました。本調査は、入院時から退院後まで、一貫して「子どもの最善の利益」に資する支援ができるような、医療機関と児童相談所のより良い連携体制の構築のために活用される基礎資料を提供することを目的とし、医療機関における現行の虐待対応体制や対応実態、医療機関のお考えなどを伺うものです。また、本研究調査の事業検討委員会の座長である前橋赤十字病院の小児科副部長溝口史剛医師が、調査内容の監修を行っております。ご多忙のところ大変恐縮ではございますが、アンケート並びにヒアリングへのご協力を賜れますよう、何卒よろしくお願いいたします。

記

1. アンケート調査の概要

- ① 対象:全国の医療機関 963 施設(先行研究に則り、同様の調査対象としています)
- ② 調查方法:郵送調查法
- ③ 調査期間:平成30年1月15日~2月5日
- ④ 主な質問事項:貴院の虐待対応組織の概要、被虐待児およびそのおそれがある子どもの入院実態、社会的入院実態、虐待対応における他機関との連携 等について
- ⑤ 回答をお願いしたい方:子どもの虐待対応に携わっている医師または医療ソーシャルワーカー
- ⑥ 倫理的配慮について: 本調査で得られたデータによって、個人や機関名が特定されることはありません。また、本調査は平成 30年度前橋赤十字病院倫理審査委員会において審査を受け、承認されております(承認番号: XXXX)。

2. ヒアリング調査の概要

- ① 対象:アンケートに回答した医療機関のうち、特徴的な回答をしている医療機関 ※後日、PwC から個別に相談申し上げます
- ② 調查方法:面接調查法
- ③ ヒアリング時間:約60~90分
- ④ 調査期間:平成31年1月中下旬~2月上旬
- ⑤ 主な質問事項:医療機関における被虐待児の対応体制、医療機関が対応する被虐待児の特徴、医療と福祉の連携の仕組み、良い連携を行っている方の行動特性

3. 返送先

全体票および個票(回答用紙)を返送用封筒に同封の上、本調査事業の実施主体である PwC までご返送ください。

医師の皆様並びに医療ソーシャルワーカーの皆様方に置かれましては、通常業務でご多忙を極めるところ更なるお手数をおかけしますこと、大変恐縮でございますが、以上の事情を踏まえ、主旨にご理解いただき、お力添えいただけますようよろしくお願い申し上げます。

【問合先】PwC コンサルティング合同会社 公共事業部 「医療機関における被虐待児童の実態に関する調査」事務局 (<u>JP_Cons_hp@pwc.com</u>、03-6212-7479 (平日 10 時~17 時))

> 東海林 崇、古屋 智子、大瀬 千紗 〒100-6921

> > 東京都千代田区丸の内 2-6-1 丸の内パークビルディング 21 階

記入要領

平成30年度子ども・子育て支援推進調査研究事業 「医療機関における被虐待児の実態に関する調査」記入要領

<本調査の目的>

▶ 本調査は、入院時から退院後まで、一貫して「子どもの最善の利益」に資する支援ができるような、医療機関 と児童相談所のより良い連携体制の構築のために活用される基礎資料を提供することを目的としています。

<ご回答にあたってのお願い事項>

- ▶ 本調査は、調査主体であるPwCコンサルティング合同会社が、厚生労働省子ども家庭局の補助を受け、医療 機関を対象として、医療機関における被虐待児に関する実態についてうかがうものです。
- ▶ 回答いただいた結果は、弊社において集計・分析を行い、報告書としてとりまとめを行います。ご回答いただいた調査票は統計分析にのみ使用し、ご回答者の許可なく病院等が特定される情報や、個人のお名前が公開されることはありません。
- ▶ 全体票と個票がありますので、両方へのご記入をお願いいたします。個票のうち、「I. 社会的入院の事例」 は必須回答で、「II. 入院事例のうち未通告の事例」「III. 児童相談所との連携不良の事例」は任意回答となります。
- ▶ 回答に要する時間は、20分程度+10分×個別ケース数です。
- ▶ 弊社から問い合わせることがございますため、調査票は各1部複写し、お手元に残してください。
- ▶ 回答をいただいた後、同封の返信用封筒に封入・封縅の上、<u>平成31年2月5日(火)</u>までに投函ください(切手は不要です)。

<調査実施主体・調査票返送先・調査内容に関するお問い合わせ先>

PwCコンサルティング合同会社 公共事業部 「医療機関における被虐待児の実態に関する調査」事務局 担当:大瀬、東海林、古屋、清水

【住 所】〒100-6921 東京都千代田区丸の内 2-6-1 丸の内パークビルディング

【電 話】03-6212-7479 (平日午前 10 時~午後 5 時)

[FAX] 03-6250-7475

【メール】JP_Cons_hp@pwc.com

【提出期限: <u>平成31年2月5日(火)</u>までに提出をお願いいたします】

<全体票Ⅲ間 3(2)、全体票Ⅲ間 4(1)、個票 I 間 1j・k、個票 II 間 2r を回答するにあたっての注意事項>

<図1> 平成 30/12/31 平成 29/12/1 平成 30/1/1 ▲ A さん 2/1 社会的入院 12/15 Bさん → Dさん 7/31 ◀ Dさん 入院 19/15 社会的入院 Cさん 社会的入院 入院 12/1

入院日数の数え方 (全体票 Ⅲ問 3(2)、個票 I 問 1j・k、個票 II 問 2r)

- 入院日数は、次の4つのルールに基づいて数えてください。
 - 【ルール 1】平成 30 年 1 月 1 日から平成 30 年 12 月 31 日までの間での入院日数を数えてください。
 - 【ルール 2】平成 30 年 1 月 1 日から平成 30 年 12 月 31 日までに入退院を繰り返している場合は、<u>直近の</u>入院について日数を数えてください。
 - 【ルール 3】 <u>平成 29 年 12 月 31 日以前に入院していた場合</u>は、平成 29 年 12 月 31 日以前の期間も<u>含め</u>、入院日から退院日までの日数を数えてください。
 - 【ルール 4】 <u>平成 31 年 1 月 1 日以降に退院した場合や、現在も入院している場合</u>は、平成 31 年 1 月 1 日以降の日数は**含めず**、入院日から平成 30 年 12 月 31 日までの日数を数えてください。
- ・ <図 1>の例では、A さん、B さん、C さん、D さんの入院日数はそれぞれ以下のように数えます。
 - A さん: 平成 30 年 2 月 1 日~30 年 12 月 15 日に入院、うち 30 年 9 月 1 日~30 年 12 月 15 日が社会的入院 →入院・社会的入院ともに**全日数を計上**する

入院日数 = 318 日 / 社会的入院日数 = 78 日

B さん: 平成 29 年 12 月 15 日~30 年 7 月 31 日で入院、うち 30 年 5 月 1 日~30 年 7 月 31 日が社会的入院

→入院・社会的入院ともに**全日数を計上**する

入院日数 = <u>200 日</u> / 社会的入院日数 = <u>92 日</u>

- C さん: 平成 29 年 12 月 1日~30 年 1月 31日で入院、社会的入院せずに退院
 - →入院日数を全日数計上し、社会的入院は0日

入院日数 = 62 日 \angle 社会的入院日数 = 0 日

- D さん: 平成 30 年 8 月 1 日~31 年 1 月 15 日で入院、うち 31 年 1 月 5 日~31 年 1 月 15 日が社会的入院

2. 入院人数の数え方 (全体票 間 4 (1))

- · 入院人数は、次の2つのルールに基づいて数え上げてください。
 - 【ルール1】平成30年1月1日から平成30年12月31日までに入院実績がある子どもの人数を数えてください。
 - 【ルール 2】 平成 30 年 1 月 1 日から平成 30 年 12 月 31 日までに入退院を繰り返している場合は、<u>直近の</u>入院事例のみ数えてください。
- · <図 1>の例では、平成 30 年 1 月 1 日から平成 30 年 12 月 31 日までの間における入院人数と社会的入院人数は次の通りです。
 - A さん: 平成30年1月1日から平成30年12月31日の間に入退院し、社会的入院も同期間中にしている
 - B さん: 平成 30 年 1 月 1 日時点で入院しており、かつ平成 30 年 12 月 31 日以前に退院している。かつ、社会的入院の期間が平成 30 年 1 月 1 日から平成 30 年 12 月 31 日の間に含まれる
 - C さん: 平成 30 年 1 月 1 日時点で入院しており、かつ平成 30 年 12 月 31 日以前に退院している。ただし、社会的 入院はしていない
 - D さん: 平成 30 年 1 月 1 日以降に入院し、平成 30 年 12 月 31 日時点で入院が継続している。一方、社会的入院 の期間が平成 30 年 1 月 1 日から平成 30 年 12 月 31 日の間に含まれない

→入院人数 : <u>4 人</u> (A、B、C、D さん)

社会的入院人数 : <u>2 人</u> (A、B さん)

個票 設問

平成30年度子ども・子育て支援推進調査研究事業「医療機関における被虐待児の実態に関する調査」調査票

I. 社会的入院の事例 (該当がある方は皆様ご回答ください)

問 1. 全体票 問 3(2)にて、「4. 15 日以上」~「9. 1 年以上」の回答が 1 つでも「1 人」以上となっている方にお 伺いします。社会的入院の日数が 15 日以上の事例について、可能な限りすべての事例についてご回答くださ い。回答は「個票回答用紙」に記入してください。

a.	旧の左換(1 へだけ遅扣)	1 0 45	0 1 1 0 1 1 1	# 0 0 # 0 #	+ >#	40 #5 1- #	t radbut		
	児の年齢(1 つだけ選択) 児の入院に至った理由	1.0歳		満 3.2歳∼6歳		~12 歳未満			
b.	(1 つだけ選択)	1. 主に児の日	医学的理由 ※社会	的理由は軽微であり、[医学的病態に入院適	適応があり入院	加療とした事例		
		2. 主に社会的	的理由 ※医学的に	は入院を要する状態でに	はなかったが、社会	的問題が大きく	く入院対応を要した事例		
		3. 両方がその	の理由 ※医学的に	入院適応があり、社会的	的問題も大きいと判	断された事例			
С.	虐待類型(複数選択可) ※回答の際には、回答用紙の	身体的虐待	1a. 多発皮膚損傷	1b. 虐待による 頭部外傷	1c. 骨折	1d. 熱傷	1e. その他		
	当てはまる「数字」もしくは 「数字+アルファベット」を	性的虐待	2. 性的虐待						
	選択してください	心理的虐待	3. 心理的虐待						
		ネグレクト	4a.医療 ネグレ	クト以外	4b. 医療ネグ	レクト			
d.	加害者の「代理によるミュン ヒハウゼン症候群」の有無 (1 つだけ選択)	1. 有			2. 無				
e.	保護者の養育力不足の疑いの 有無(1 つだけ選択)	1. 有			2. 無				
f.	e. で1を選択した場合、養 育不全が疑われる状況を把握	1. 入院に至	1. 入院に至るエピソード前から懸念されていた						
	した時点(1つだけ選択)	2. 入院に至るエピソードを契機に虐待が疑われた							
		3. 入院後に	虐待の発生が疑れ	れた(入院生活中	に虐待を受けた	き)			
g,	通告等の状況(複数選択可) ※受理されたかどうかにかかわ らず、貴院として通告したかど うか	1. 未通告	2 . y	己童相談所通告	3. 市区町村道	重告 4	4. 警察通報		
h.	g. で1を選択した場合、そ の理由(複数選択可)	1. 虐待/ネ:	グレクトとして、	軽症と考えられた	ため	***************************************	TANIBULE TO THE PARTY OF THE PA		
	○ 全田 (及	2. 虐待/ネ:	グレクトだとの確	信が持てなかった	ため				
		3. 医療機関	見の対応のみで状	况の改善が見込ま	hたため				
		4. 児童相談	炎所の介入による	効果が見込めなか・	ったため				
		5. 市区町村	寸の介入による効	果が見込めなかった	たため				
		6. 介入でに	はなく市区町村に	よる支援が適切だ	 と考えられたた	:め	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		
		7. 通告によ	こる養育者との関	係性の悪化が懸念	されたため				
		8. 過去に児	見童相談所とのや	り取りでトラブル	があったため				
		9. 過去に計	7区町村とのやり	取りでトラブルがる	あったため				
		10. 警察に通	通報したため		***************************************				
		11. その他	(具体的に)						

i	g.で2を選択した場合、児童 相談所に通告が受理されたか どうか (1つだけ選択)	1. 受理された		2. 受理されな	かった			
j.	入院日数(1つだけ選択) ※数え方は、記入要領参照	1. 15日以上1か月未満	2. 1か月以上	2か月未満	3. 2か月以上3か月未満			
	71.30.70.71.00 HD 7.50.70.71.00	4. 3か月以上6か月未満	5. 6 か月以上	1年未満	6. 1年以上			
k.	入院日数のうち、社会的入院 *の日数(1つだけ選択)	1. 15日以上1か月未満	2. 1か月以上	2 か月未満	3. 2か月以上3か月未満			
	※数え方は、記入要領参照	4. 3か月以上6か月未満	5. 6か月以上	1年未満	6. 1年以上			
1.	現在の入院状態 (1つだけ選択)	1. 退院済み		2. 現在も入				
m.	社会的入院に至った理由 (1つだけ選択)	1. 医療的ケア児(生存のため、 もの状態的に重症心身障害!			アを要する児)の状況で、子ど			
		2. 医療的ケア児の状況で、重担	定心身障害児施設	との空きがなかっ	たため			
		3. 医療的配慮児(通常の家庭であれば、実施して家庭で養育が可能な範囲の投薬や注射、アレルギーへの配慮を要する児)の状況で、子どもの状態的に社会的養護先で入所等ができなかったため						
		4. 医療的配慮児の状況で、社会	会的養護先の空き	がなかったため				
		5. 医療的ケアと医療的配慮の 状況で、子どもの状態的に			なが必要な児(行動障害など)の ったため			
			いずれも必要なり	いが、養育的配慮	が必要な児(行動障害など)の			
			的配慮、養育的酮	2慮のどれも必要	としていないが、空きがないた			
		8. 社会的養護とするか否か、!	児童相談所と養育	育者との折り合い	がつかないため			
		9. その他 (具体的に)						
n.	長期の社会的入院に至った理 由に対し、医療機関側の認識	1. 医療機関側の対応の問題で	長期に至った					
	(1つだけ選択)	2. 行政側の対応の問題で長期に	こ至ったが、行政	女からの説明に納	得している			
		3. 行政側の対応の問題で長期 ないと認識している	に至り、行政から	らの説明に納得レ	いかない部分があるが、やむを得			
		4. 行政側の対応の問題で長期に	こ至ったが、行政	からの説明に納	得していない			

Ⅱ. 入院事例のうち未通告の事例

問 2. 全体票間 4 (1) の「ニ.通告しなかった」のいずれかに「1 人」以上を回答した方にお伺いします。通告をしなかった事例について、事例ごとに次の設問にご回答ください。回答は「個票回答用紙」に記入してください。

	びあり入院加療とした事例									
(1つだけ選択) 2. 主に社会的理由 ※医学的には入院を要する状態ではなかったが、社会的問										
2. 主に社会的理由 ※医学的には入院を要する状態ではなかったが、社会的問	題が大きく入院対応を要した事例									
3. 両方がその理由 ※医学的に入院適応があり、社会的問題も大きいと判断さ	2. 主に社会的理由 ※医学的には入院を要する状態ではなかったが、社会的問題が大きく入院対応を要した事例									
	。両方がその理由 ※医学的に入院適応があり、社会的問題も大きいと判断された事例									
次回各の際には、回各用紙 多発及層損傷 現部外傷	d. 熱傷 1e. その他									
の当てはまる「数字」もし 性的虐待 2. 性的虐待										
ト」を選択してください										
ネグレクト 4a.医療 ネグレクト以外 4b. 医療ネグレク	' -									
T. 入院日数(1つだけ選択) 1. 15日以上1か月未満 2. 1か月以上2か月未満 ※数え方は、記入要領参照	. 2か月以上3か月未満									
1990 CON 1	. 1年以上									
8. 未通告の理由 (複数選択 可) 1. 虐待/ネグレクトとして、軽症と考えられたため										
2. 虐待/ネグレクトだとの確信が持てなかったため										
3. 医療機関の対応のみで状況の改善が見込まれたため										
4. 児童相談所の介入による効果が見込めなかったため										
5. 市区町村の介入による効果が見込めなかったため										
6. 介入ではなく市区町村による支援が適切だと考えられたため										
7. 通告による養育者との関係性の悪化が懸念されたため										
8. 過去に児童相談所とのやり取りでトラブルがあったため										
9. 過去に市区町村とのやり取りでトラブルがあったため										
10. 警察に通報したため	***************************************									
11. その他(具体的に)										

Ⅲ. 児童相談所との連携不良の事例

問3. 被虐待児および被虐待のおそれがある子どもの対応において、児童相談所との連携がうまくいかなったご経験されたことがある方にお伺いします。児童相談所との連携不良の事例について、事例ごとに次の設問にご回答ください。回答は「個票回答用紙」に記入してください。

u.	児の年齢(1 つだけ選択)	1. 0 歳	2. 1歳~2	. 1 歳~2 歳未満 3. 2 歳~6 歳未満 4				~12 歳未注	満 5	5. 12 歳以上
V.	虐待類型(複数選択可) ※回答の際には、回答用紙	身体的虐待	1a. 多発皮膚	1a.1b. 虐待による多発皮膚損傷頭部外傷				1d. 熱傷	<u>;</u>	1e. その他
	の当てはまる「数字」もし くは「数字+アルファベッ	性的虐待	2. 性的虐	建待						
	ト」を選択してください	心理的虐待	3. 心理的	内虐待						
		ネグレクト	4a.医療	ネグレ	クト以外	4b. 医	療ネグレ	ノクト		
w.	通告等状況(複数選択可) ※受理されたかどうかにかかわ らず、貴院として通告したかど うかをお答えください	1. 未通告	2. 児童相談所通告 3. 市区町村通告 4. 警察通報							
X.	児童相談所との連携不良を 感じた際の状況(複数選択 可)	クを低くト2. 不要な親子高くトリア3. 連携するう4. 児童相談所	リアージし 一分離が生し ージした等 えでのコミ	ンた等) ジた (医 等) シュニケ 系機関に	生じた(医療機 療機関の認識と ーションが円滑 連携するかどう 解の不一致が発	異なり に取れ か (警	、児童相なかった	談所が事	例のリ	スクを過剰に
		5. 児童相談所	「の職責と	きえてい	る対応を、医療	機関が	行うよう	に迫られ	た	
3-2		6. その他								
y.	x.で選択した状況につい て、具体的な状況				(記述回	回答)				

全体票

平成30年度子ども・子育て支援推進調査研究事業「医療機関における被虐待児の実態に関する調査」調査票

下記の設問に従い、回答してください。回答の記入は太枠内にお願いいたします。

<貴院の基礎情報>

A	都道府県				都・道 府・県
В	勤務人数(数値記入)	常勤小児科医	人	医療ソーシャルワーカー	人
C	貴院の標榜する	1. 小児科	2. 救命救急科	3. 総合診療科	4. 脳外科
0	診療科(複数選択可)	5. 整形外科	6. 外科	7. 精神科	8. 産婦人科
D.	患者相談部門の有無(1~	>選択)	1. 有		2. 無

I. 被虐待児・被虐待児と疑われる子どもの受入体制について

- 問 1. 貴院における「被虐待児および被虐待児と疑われる子ども」の対応にかかる、受入体制について伺います。
- (1) 貴院は現在、対象に子どもを含む虐待対応組織※を設置していますか。 [1つ選択] ※委員会・係・班・チームを含む

1 設置している → (2) をご回答ください 2 設置していない →**問2へお進みください**

(2) 貴院の対象に子どもを含む虐待対応組織について、主管の診療科を教えて下さい。〔1 つ選択〕

1. 小児科 2. 救命救急科 3. 総合診療科 4. その他 () 5. ケースにより違う

Ⅱ.被虐待児・被虐待児と疑われる子どもの対応実態について

ここからは、平成30年1月~平成30年12月末までの実態についてお答えください。

- 問2. 貴院を受診した被虐待児およびその疑いがある子どもについて伺います。
- (1) 貴院を受診した子どもに虐待を受けた疑いがあると判断するために、病院が運用しているマニュアル・ガイドライン等がありますか。〔1つ選択〕

1. 有 2. 無

(2) 平成 30 年 1 月~平成 30 年 12 月末に貴院で<u>被虐待児およびその疑いがあって対応した子ども</u>の実患者数は何人ですか。 [枠内に数値を記入]

人 | ※被虐待児およびその疑いがあるとする子どもは、貴院の判断基準でご判断ください。 ※院内虐待対応組織がなく把握が困難な場合、把握しえた範囲内でお答えください。

※平成30年に新規に対応した事例をお答えください(以前から関わりがあった場合でも平成30年に新たに虐待が疑われる事実が発生/判明した場合、新規対応事例に含めてください)。

(3) 平成30年4月~平成30年12月末に貴院で入院管理を行った被虐待児のうち、平成30年度に新設された入 退院支援加算条件の「エ.家族または同居者から虐待を受けているまたはその疑いがあること」を要件とした 加算実績の割合を以下よりお選びください。〔1つ選択〕また、その理由もお答えください〔記述回答〕

1. 0%	2. 1~24%	3. 25%~49%	4. 50%~74%	5. 75%以上
上記となった理 (記述回答)	由			

(4) 平成30年1月~平成30年12月末に、被虐待児およびその疑いがある子どもに関わった院外機関と貴院の関 わりの頻度について、以下より当てはまる選択肢をご回答ください。 $[A\sim G$ につき、 $1\sim 6$ のあてはまる番号 を1つ選択]

	院外機関	全くない	1 年に 1、2 回	The control of the co		月に2、3回	週に1回以上
A	児童相談所	1	2	3	4	5	6
В	保健センター・保健所	1	2	3	4	5	6
С	市区町村の家庭児童相談室	1	2	3	4	5	6
D	警察	1	2	3	4	5	6
E	保育所 / 幼稚園等・学校	1	2	3	4	5	6
F	貴院以外の医療機関	1	2	3	4	5	6
G	その他 ()	1	2	3	4	5	6

被虐待児・被虐待児と疑われる子どもの入院実態について

- 問3. 貴院を受診した被虐待児およびその疑いがある子どものうち、被虐待児および被虐待児と疑われる子どもの 入院、社会的入院および一時保護委託について伺います。
 - (1) 問 2 (2) で回答した<u>被虐待児およびその疑いがある子ども</u>のうち、<u>平成 30 年 1 月~平成 30 年 12 月末の間</u> で下記の人数はそれぞれ何人ですか。〔枠内に数値を記入〕
 - ①:入院、②:①のうち、社会的入院、③:一時保護委託
 - ②a:②のうち、医療的ケアが必要、②b:医療的配慮が必要、②c:医療的ケアも医療的配慮も不要

① 入院(一時保護委託を含む)	人		*2a+2b+2	に記入ください。	
② 社会的入院			②a 医療的ケア が必要	②b 医療的配慮 が必要	②c 医療的ケアも医療的配慮も不要
	人		人	人	人
	Constant of the Constant of th	7			
③ ①のうち一時保護委託	人]			

・社会的入院: 「入院治療が必要でない状態にもかかわらず、入院している状態。ただし、医療的ケアが必要なものは含む。

(例:医学的な理由が乏しいが保護者の養育力不足のため入院、虐待の後遺症があるが受け入れ先がないため入

院、虐待か否かの児童相談所の判断および今後の方向性の判断に時間を要したため入院 等)」 ・医療的ケア:「生きていくため、日常的な医療的機器を用いて行われるケア(経管栄養、たんの吸引、人工呼吸器の管理等)」

医療的配慮: 「通常の家庭であれば、家庭で実施が可能な範囲の配慮(投薬や注射、アレルギー等への配慮)」

一時保護委託:「児童相談所から委託されて子どもを受け入れている状態」

(2) 問3(1)②社会的入院について、社会的入院日数ごとの内訳はそれぞれ何人ですか。〔枠内に数値を記入〕

1 1日以上4日未満	人 6 2か月以上3か月未満	人
2 4日以上8日未満	人 7 3か月以上6か月未満	人
3 8日以上 15 日未満	人 8 6か月以上1年未満	人
4 15 日以上 1 か月未満	人 9 1年以上	人
5 1か月以上2か月未満	人合計	人

社会的入院のうち、「4.15日以上」~「9.1年以上」の回答が1つでも「1人」以上となっている 方は、個票の「I社会的入院の事例」にもご回答ください。

IV. 被虐待児・被虐待児と疑われる子どもの通告について

- 問 4. <u>被虐待児およびその疑いがある子ども</u>に関する平成 30 年 1 月~平成 30 年 12 月末までの児童相談所への通告、市区町村への通告について伺います。
- (1) <u>被虐待児およびその疑いがある子ども</u>に関する平成 30 年 1 月~平成 30 年 12 月末までの入院、社会的入院におけるイ.総数、ロ.児童相談所への通告、ハ.市区町村への通告、ニ.通告しなかった、z.市区町村に支援依頼などの連絡をした子どもは、それぞれ何人ですか。〔枠内に数値を記入〕 ※ニについては、イー(ロ+ハ)を計算してください。

	イ. 総数	ロ. 児童相談所に通告した	ハ. 市区町村は 通告した	ニ.通告しなかった ※イー (ロ+ハ) を計算 してください
1. 入院	人 ※問 3(1)①の回答 を転記	人 	[人 _]	, ,
2. 社会的 入院	人 ※問 3(1)②の回答 を転記	人 …	[人 _]	

z. 市区町村に支援 依頼などの連絡を した 人

(1) の「ニ. 通告しなかった」の「1. 入院」「2. 社会的入院」のいずれかに「1人」以上を回答した方に伺います

(2) どの機関にも通告しなかった理由は何ですか。以下より当てはまる選択肢をご回答ください。 [$A\sim K$ につき、 $1\sim 6$ のあてはまる番号を1つ選択]

	理由	全くない	ほとんど ない	あまりな い	しばしば ある	よくある	とてもよ くある
A	虐待/ネグレクトとして、軽症と考えられたため	1	2	3	4	5	6
В	虐待/ネグレクトだとの確信が持てなかったため	1	2	3	4	5	6
С	医療機関の対応のみで状況の改善が見込まれたため	1	2	3	4	5	6
D	児童相談所の介入による効果が見込めなかったため	1	2	3	4	5	6
Е	市区町村の介入による効果が見込めなかったため	1	2	3	4	5	6
F	介入ではなく市区町村による支援が最適だと考えられ たため	1	2	3	4	5	6
G	通告による養育者との関係性の悪化が懸念されたため	1	2	3	4	5	6
Н	過去に児童相談所とのやり取りでトラブルがあったた め	1	2	3	4	5	6
I	過去に市区町村とのやり取りでトラブルがあったため	1	2	3	4	5	6
J	警察に通報したため	1	2	3	4	5	6
K	その他 ()	1	2	3	4	5	6

(1) の「 \square . 通告しなかった」の「1. 入院」「2. 社会的入院」のいずれかに「1 人」以上を回答した方は、個票の「 \blacksquare 入院事例のうち未通告の事例」についても、代表的な事例で構いませんのでご回答にご協力をお願いたします(記入は任意です)。

(1) のハ.のいずれかに「1人」以上を回答した方にお伺いします。

(3) (1) で、児童相談所には通告しなかったが、市区町村に通告した子どもについて、児童相談所には通告しなかった理由は何ですか。以下より当てはまる選択肢をご回答ください。 [$A\sim F$ につき、 $1\sim 6$ のあてはまる番号を1つ選択]

10 d 1 (3) 1 d 1 d 2 1 d 1 d 3	理由	全くない	ほとんど ない	あまりな い	しばしば ある	よくある	とてもよ くある
A	市区町村が既に把握している事例(例えば、要保護児童 対策地域協議会で把握されている/市区町村による見守 りが実施されているなど)だったため	1	2	3	4	5	6
В	児童相談所への通告による養育者との関係性の悪化が懸 念されたため	1	2	3	4	5	6
С	市区町村への通告が、児童相談所への通告とみなされる ため	1	2	3	4	5	6
D	児童相談所への介入による効果が見込めなかったため	1	2	3	4	5	6
Е	過去に児童相談所とのやり取りでトラブルがあったため	1	2	3	4	5	6
F	その他 ()	1	2	3	4	5	6

全体の設問は以上となりますが、<u>個票の「Ⅲ児童相談所との連携不良の事例」</u>についてもご回答にご協力をお願いいたします(記入は任意です)。

ヒアリング調査について

問 5. 本調査では、ご回答いただいた内容の詳細を伺うため、ヒアリング調査も実施したいと考えております。 つきましては、業務ご多忙のところまことに恐れ入りますが、ヒアリング調査にもご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。 〔あてはまる番号を1つ選択〕

1	協力できる
2	詳細を聞いてから協力の可否を判断する
3	協力できない

※ヒアリング調査の所要時間は1時間程度です。また、実施時期は平成31年1月下旬~2月下旬の予定です。

<ヒアリングにご協力いただける場合には、下記に記入をお願いいたします>

貴院			
記入者名			
調本番に関わる	部署	役職	
調査票に関する	フリガナ		
問い合わせご担当者	氏名		
調査票に関する 問い合わせ電話		調査票に関する 問い合わせFAX	
調査票に関する 問い合わせメールアドレス		@	

調査は以上です。お忙しいところご協力いただき、誠にありがとうございました。 返送の際は、本全体票と個票を同封のうえ、返信用封筒にて返送ください。(切手は不要です)

個票 回答用紙

平成30年度子ども・子育て支援推進調査研究事業「医療機関における被虐待児の実態に関する調査」調査票

別紙の個票(設問)に従い、下記に回答してください。回答の記入は太枠内にお願いします。

I. 社会的入院の事例について(該当がある方は皆様ご回答ください)

個票 I ケー	・ス①			14.8 T								4									
a. 年齢		1	2		3	4	5	b.	入院	理由	1	2	:	3							
。 表法叛刑		1a	1b)]	lc	1d	1e	le.	その他	の場合											
c. 虐待類型		2		3	4	la	4b						***************************************						*****		
d. 代理による ヒハウゼン症			1		2		e. 保護者 養育力			1		2	f. ‡	巴握時点	Ŕ	1	2	2		3	
g. 通告状況		1		2		3	4														
		1		2		3		4	5	j	6		7		8	9)	10		1	.1
h. 未通告理由		11. <i>₹</i>	の他	の場合	•					·		•							!		
i. 児相の受理状	代況		1	1			2	2													
j. 入院日数		1	2	2	3	4		5	6	k. 社	会的入[完日:	——— 数	1	2		3	4	5		6
1. 現在の状況			1				2	2													
		1			2		3		4		5		G		7	,		8	T	9	
m. 社会的入院理	曲	9. その	他の	場合				1		············		1					1		l		
n. 医療機関の認	忍識	1		2			3	4													

a. 年齢	1	2		3	4	5	b. <i>7</i>	院理由	1	2		3					
-E /+ 17 Til	1a	1k	o]	lc	1d	1e	1e. その	の他の場	合								
c. 虐待類型	2		3	4a	ı	4b											
d. 代理によるミュン ヒハウゼン症候群		1		£	2		e. 保護 養育	養者の プカ不足	1		2	f. 把i	屋時点	1	2	2	3
g. 通告状況	1		2	3		4								•		'	
	1		2		3	4	4	5	6		7	8		9	10		11
h. 未通告理由	11. र	その他	1の場合				•			•						<u>_</u>	
i. 児相の受理状況]	l.			2											
j. 入院日数	1	2	2	3	4	5	6	k. 1	社会的入	院日数		1	2	3	4	5	6
l. 現在の状況		1				2			***************************************				.1		<u>.</u>		1.
	1			2		3		4	5		6		7		8		9
m. 社会的入院理由	9. その	他の:	場合		-		- t				***				*		······································

. 年齢	1	2	3	4	5	b. 入院	定理由	1	2	3				
	1a	1b	1c	1d	1e	1e. その他		<u> </u>				***************************************		
. 虐待類型	2	3	L	4a	4b									
. 代理によるミュン ヒハウゼン症候群		1		2		e. 保護者 養育力		1	2	f. ‡	巴握時点	1	2	3
. 通告状況	1	2		3	4									
	1		2	3		4	5	6	7		8	9	10	11
. 未通告理由	11. ₹	その他の	場合											
 児相の受理状況		1			2	}								
入院日数	1	2	3	4	5	6	k. 社	会的入院	日数	1	2	3	4	5 6
現在の状況		1			2									
	1		2		3	4		5		3	7		8	9
1. 社会的入院理由	9. その	他の場	合											
. 医療機関の認識	-						7							
	1		2	kan Union Erros Er	3	4	The state of the s	ing paganan na kanan lang	ner stjörnings kniering	elle alle ausselle Til 177 i 1286 Til 177 i 1286			7 2 2 3 4 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5	
蜀栗I ケース④	1	2	3	4	5	b. 入隊		1	2	3			442 E E E E E E E E E E E E E E E E E E	
蜀票 I ケース④ . 年齢	1 1a	1b	3 1c	1d	5 1e	San			1000000	3	All Maries (more lives in the land)			- 10
古票 I ケース④ . 年齢 . 虐待類型	1		3 1c		5 1e 4b	b. 入隊	业の場合 針の		1000000		巴握時点	1	2	
国票 I ケース④ 年齢 虐待類型 代理によるミュン ヒハウゼン症候群	1 1a	1b	3 1c	1d 4a	5 1e 4b	b. 入防 1e. そのf e. 保護者	业の場合 針の		2					
西票 I ケース④ 年齢虐待類型代理によるミュン ヒハウゼン症候群	1 1a 2	1b 3	3 1c	1d 4a 2	5 1e 4b	b. 入防 1e. そのf e. 保護者 養育力	业の場合 針の		2					
西票 I ケース④ 年齢虐待類型代理によるミュン ヒハウゼン症候群通告状況	1 1a 2	1b 3	3 1c	1d 4a 2	5 1e 4b	b. 入防 1e. そのf e. 保護者 養育力	也の場合 計の]不足	1	2 2		巴握時点	1	2	3
国票 I ケース④ 年齢 虐待類型 代理によるミュン ヒハウゼン症候群 通告状況 ・ 未通告理由	1 1a 2	1b 3 1 2	3 1c	1d 4a 2	5 1e 4b	b. 入防 1e. その作 e. 保護者 養育力	也の場合 計の]不足	1	2 2		巴握時点	1	2	3
国票 I ケース④ . 年齢	1 1a 2	1b 3 1 2 上の他の	3 1c	1d 4a 2	5 1e 4b	b. 入防 1e. その低 e. 保護者 養育ナ	tの場合 fの j不足	1	2 2		巴握時点	1	2	3
国票 I ケース④ 年齢 虐待類型 代理によるミュンヒハウゼン症候群 通告状況 未通告理由 児相の受理状況 入院日数	1 1a 2 1 1 11. 3	1b 3 1 2 2 たの他の	3 1c 2 場合	1d 4a 2 3 3	5 1e 4b	b. 入防 1e. その他 e. 保護者 養育力 4	tの場合 fの j不足	6	2 2	f. ‡	巴握時点	9	10	3
固票 I ケース④ . 年齢 . 虐待類型 . 代理によるミュン ヒハウゼン症候群 . 通告状況 . 未通告理由 . 児相の受理状況 . 入院日数 . 現在の状況	1 1a 2 1 1 1 1 1 1 1	1b 3 1 2 上の他の 1 2 1 1	3 1c 2 場合	1d 4a 2 3 3	5 1e 4b 4	b. 入防 1e. その他 e. 保護者 養育力 4	tの場合 fの j不足	6	2 2 7	f. ‡	巴握時点	9	10	3
国票 I ケース④ . 年齢 . 虐待類型 . 代理によるミュンヒハウゼン症候群 . 通告状況 . 未通告理由 . 児相の受理状況 . 入院日数	1 1a 2 1 1 1 1 1 1 1	1b 3 1 2	3 1c 2 場合	1d 4a 2 3 3	5 1e 4b 4 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	b. 入防 1e. その化 e. 保護者 養育力 4	tの場合 fの j不足	1 6 会的入院	2 2 7	f. ‡	巴握時点	9	10	5 6

※4 ケース以上ある場合は、お手数ですが回答用紙をコピーの上、ご回答をいただけますと幸いです

Ⅱ. 入院事例のうち未通告の事例(任意回答)

. 年齢	1		2		3		4	5	p. 入	院理由	1	2		3
古体籽型	1a	1b	1c	1d	1e	1e	その他の	場合	-1				 	
」. 虐待類型	2	3		4a	4b									
. 入院日数	1		2	3	1	4	5	6						
	1		2		3		4	5	6	7	8	9	10	11
. 未通告理由	11. そ	の他の	場合				.				1			-1
・ 未通告に至った経緯の補足														

個票Ⅱ ケーク	(@						at family de la contraction profits							
o. 年齢	1		2		3		4	5	p. 入图		1	2		3
q. 虐待類型	1a	1b	1c	1d	1e	1e. ₹	の他の	場合						
q. 虐待類型	2	5	3	4a	4 b									
r. 入院日数	1		2		3	4	5	6						
	1		2		3		4	5	6	7	8	9	10	11
s. 未通告理由	11. ₹	との他	の場合											•
t. 未通告に至った 経緯の補足	=													

The state of the s			national and a state of the	Salestanianskers	mana blansvin	gradienturicopiet sieg	A desperties de fille of the process of the di-		entral property of participal			And the Control of th	
o. 年齢	1		2	3		4	5	p. 入图	院理由	1	2		3
q. 虐待類型	1a	1b :	lc 1	l le	1e. ₹	その他の	場合				··········	<u> </u>	
q. 虐待類型	2	3	4a	4b									
r. 入院日数	1	2		3	4	5	6						
s. 未通告理由	1 11. そ	の他の場	2 }合	3		4	5	6	7	8	9	10	11
			W-91.1.1.1	*******		· ·			·				
t. 未通告に至った 経緯の補足													

※3 ケース以上ある場合は、お手数ですが回答用紙をコピーの上、ご回答をいただけますと幸いです

Ⅲ. 児童相談所との連携不良の事例(任意回答)

個票Ⅲ ケース(D					
u. 年齢	1	2	3	4	5	
v. 虐待類型	1a	1 b	1c	1d	1e	1e. その他の場合
V. 虐付類空	2	3		4a	4b	
w. 通告等状況	1	2		3	4	
x. 連携不良状況	1	2	3	4	5	6.その他の場合
y. x.で選択した 状況について 具体的な状況						
個票Ⅲ ケース(2)					
u. 年齢	1	2	3	4	5	
v. 虐待類型	1a	1b	1c	1d	1e	1e. その他の場合
V. 准付規型	2	3		4a	4b	
w. 通告等状况	1	2		3	4	
x. 連携不良状況	1	2	3	4	5	6.その他の場合 6
y. x.で選択した 状況について 具体的な状況						
個票Ⅲ ケース(3)			T		
u. 年齢	1	2	3	4	5	
 v. 虐待類型	1a	1b	1c	1d	1e	1e. その他の場合
· /E17//	2	3		4 a	4b	
│ │w. 通告等状況 │	1	2		3	4	
x. 連携不良状況	1	2	3	4	5	6.その他の場合
y. x.で選択した 状況について 具体的な状況						

※3 ケース以上ある場合は、お手数ですが回答用紙をコピーの上、ご回答をいただけますと幸いです